

歯科材料 5 歯科用接着充填材料

管理医療機器 歯科接着用レジンセメント(70836002)

(歯科用象牙質接着材(42483002) 歯科セラミックス用接着材料(70815000) 歯科金属用接着材料(70921000)

歯科用エッチング材(36153000) 歯科用充填・修復材補助器具(38782000)

リライエックス™ ユニバーサル レジン セメント

再使用禁止

【禁忌・禁止】

1. 主材、スコッチボンド™ ユニバーサル プラス アドヒーシブ及びアクリレート類に対して、発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。
2. リライエックス™ ユニバーサル マイクロミキシングチップ、エンド用延長チップ、ディスポーザブル アプリケーター ブラシ、エッチャント ディスペンシング チップは再使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

1. 形状・構造

- 1) 主材(リライエックス™ ユニバーサル レジン セメント)
主材は、オートミックスシリンジ中に 2 種類のペーストが混合しない状態で封入されている。シェードは、トランスルーセント、A1 ユニバーサル、A3 オペーク、ホワイトオペークの 4 色がある。オートミックスシリンジから 2 種類のペーストをリライエックス™ ユニバーサル マイクロミキシングチップ(以後、ミキシングチップと記載)にて練和して使用する。オートミックスシリンジ先端には、ミキシングチップを脱着する際に開閉するバルブが付いている。尚その他の構成品として、主材先端に取り付ける付属品、スコッチボンド™ ユニバーサル プラス アドヒーシブ及びそれに使用する付属品、スコッチボンド™ ユニバーサル エッチャント シリンジ及びそれに付ける付属品がある。

名称	成分
リライエックス™ ユニバーサル レジン セメント ベースペースト	メタクリレート、シリカ、重合開始剤、その他
リライエックス™ ユニバーサル レジン セメント キャタリストペースト	ガラス粉末、メタクリレート、シリカ、重合開始剤、その他

2) その他の構成品

名称	成分
スコッチボンド™ ユニバーサル プラス アドヒーシブ	リン酸エステル系モノマー、メタクリレート、重合開始剤、エタノール、その他
スコッチボンド™ ユニバーサル エッチャント シリンジ	リン酸、水、その他
リライエックス™ ユニバーサル マイクロミキシングチップ	プラスチック
エンド用延長チップ	プラスチック
ディスポーザブル アプリケーター ブラシ M サイズ	プラスチック
エッチャント ディスペンシング チップ	プラスチック、ステンレススチール

2. 原理

- 1) 主材：オートミックスシリンジ入りのデュアルキュア型レジンセメントである。本材は、セルフアドヒーシブモード及びアドヒーシブモードの両方の使用が可能である。セルフアドヒーシブモードで使用する場合、エッチング、

ブライミング、ボンディングなどの歯面への前処理は不要である。アドヒーシブモードで使用する場合、スコッチボンド™ ユニバーサル プラス アドヒーシブと併用して使用する。

本材は、光重合開始剤と化学重合開始剤によって、メタクリレートのラジカル重合が起こり硬化する。

2) その他の製品

- (1) スコッチボンド™ ユニバーサル プラス アドヒーシブ：歯科用コンポジットレジン、セメント、セラミックス、金属等の歯科材料の接着に用いられ、光エネルギーにより重合硬化するセルフエッチングアドヒーシブである。
- (2) スコッチボンド™ ユニバーサル エッチャント シリンジ：リン酸のゲルであり、歯の表面を脱灰し、粗造にする。

【使用目的又は効果】

リライエックス™ ユニバーサル レジン セメント：歯科修復物・歯科修復材・歯科装置・口腔内硬組織のいずれかの相互間の接着に用いる。

スコッチボンド™ ユニバーサル プラス アドヒーシブ：象牙質を含む窩洞若しくは欠損又は人工歯冠等装置への接着、歯科用セラミックスで作製した歯科修復物又は装置の接着、金属修復物又は装置の接着に用いる。

スコッチボンド™ ユニバーサル エッチャント シリンジ：歯又は歯科修復物のエッチング(技工専用を除く)に用いる。

臨床上の必要性(利便性)：主材(リライエックス™ ユニバーサル レジン セメント)をアドヒーシブモードで使用する場合、主材とスコッチボンド™ ユニバーサル プラス アドヒーシブを組み合わせる。必要に応じて、スコッチボンド™ ユニバーサル エッチャント シリンジを用いて歯質のエッチングを行い、接着力を高めることができる。

*【使用方法等】

1. 適応症例

- 1) 主材をアドヒーシブモードで使用する場合（スコッチボンド™ ユニバーサル プラス アドヒーシブとの併用）
 - (1) オールセラミックス又は金属製の接着ブリッジ(メリーランドブリッジ、3 ユニットのインレー／アンレーブリッジ)の接着

《使用方法等に関連する使用上の注意》

メリーランドブリッジとインレー／アンレーブリッジは、ブラキシズムや歯周炎のある患者には避けること。

- (2) オールセラミックスまたはコンポジット製ベニア及び咬合面ベニア(テーブルトップ)の接着

《使用方法等に関連する使用上の注意》

同時に接着するベニアは最大 2 枚とすること。

- 2) 主材をアドヒーシブモードで使用する場合（スコッチボンド™ ユニバーサル プラス アドヒーシブとの併用）、又は、セルフアドヒーシブモードで使用する場合
 - (1) オールセラミックス、コンポジットまたは金属製のインレー、アンレー、クラウン及びブリッジの接着
 - (2) ファイバーポスト、セラミックス製ポストまたは金属製

ポスト及びスクリーンの接着

- (3) インプラントアバットメントに装着するオールセラミックス、コンポジットまたは金属製修復物の接着

2. 使用方法

1) 準備処置

- (1) 歯髄に近接した症例には、印象採得前に歯髄保護のため水酸化カルシウム製剤等の覆髄材を使用する。
- (2) 仮封材・仮着材を用いて暫間修復物を装着する。

《使用方法等に関連する使用上の注意》

- a. ユージノールを含まない覆髄材、仮封材、仮着材、を使用すること。最終セメント接着時に、主材及びスコッチボンド™ ユニバーサル プラス アドヒーズの重合反応を阻害する恐れがある。
- b. 過酸化水素水(オキシドール)や炭酸水素ナトリウム(重曹)は使用しないこと。接着力や硬化反応に悪影響を及ぼす恐れがある。

- (2) 窩洞/支台歯、根管、接着ブリッジ(メリーランドブリッジ及びインレー／アンレーブリッジ)の支台歯、ベニアの支台歯の準備

《使用方法等に関連する使用上の注意》

- (1) 歯面を乾燥させすぎないこと。術後疼痛を誘発することがある。
- (2) 歯面の最終清掃後に、知覚過敏抑制剤、収斂剤、消毒剤、シーラント、EDTA を含む溶液などを使用しないこと。主材やスコッチボンド™ ユニバーサル プラス アドヒーズの接着力や硬化反応に悪影響を及ぼす恐れがある。

ー窩洞/支台歯の準備ー

- (1) 通法により仮封材又は仮着材を除去する。
- (2) 窩洞や支台歯を十分に清掃、水洗し、水・オイルを含まないエアーを2～3回吹き付けて軽く空気乾燥するか、綿球等で水分をふき取る。窩洞は歯面にわずかに光沢が残る程度に乾燥させる。

ー根管の準備ー

- (1) 根管治療を通法により行う。充填したガッタパーチャを根尖側に4mm以上残して取り除く。
- (2) 根管形成を行い水洗し、ペーパーポイント等で乾燥させる。

《使用方法等に関連する使用上の注意》

ポスト挿入時は、ラバーダムの使用を推奨する。

ー接着ブリッジ(メリーランドブリッジ及びインレー／アンレーブリッジ)の支台歯の準備ー

- (1) 支台歯が健全で歯周組織の状態が良く、接着のために十分な面積のエナメル質が残っていることを確認する。
- (2) 保持形態を形成する。
- (3) 歯面にエッチングを行う(【使用方法等】2. 使用方法 6) 歯質のエッチングを参照)。

《使用方法等に関連する使用上の注意》

- a. エッチング処理を必ず行うこと。接着力に影響する。
- b. セメント接着時には、ラバーダムの使用を推奨する。

ーベニアの支台歯の準備ー

- (1) 通法に従いベニアの形成を行い、歯面を清掃する。
- (2) 歯面にエッチングを行う(【使用方法等】2. 使用方法 6) 歯質のエッチングを参照)。

《使用方法等に関連する使用上の注意》

エッチング処理を必ず行うこと。接着力に影響する。

3) 最終補綴物の試適

- (1) 暫間修復物を除去し、仮封材・仮着材を残さないように通法に従い歯面を清掃する。
- (2) 最終補綴物を試適し、適合及びコンタクトポイントを確認する。

《使用方法等に関連する使用上の注意》

低粘度シリコーン材料を用いて試適を行う場合、試適後必ず残留するシリコーン材料を完全に除去すること。

- * (3) 適切なシェードのセメントを選択する。リライエクス™ トライインペースト等を使用して色調を確認する。

4) 最終補綴物の前処理

補綴物の処理面に汚染がないよう注意しながら、使用する補綴物や支台材料の指示に従い前処理を行う。各補綴物や支台材料による指定がない場合は、以下の方法を推奨する。

ージルコニア、アルミナ、金属製補綴物ー

- (1) セメント接着面のサンドブラスト処理を行う。粒径 30～50 μm の酸化アルミニウムを圧力 2bar (30psi) で使用し、処理面を粗造にする。
- (2) サンドブラスト処理を行った表面をアルコールで清掃し、水・オイルを含まないエアーで乾燥する。

《使用方法等に関連する使用上の注意》

- a. サンドブラスト処理を試適後に行わない場合、試適後の補綴物は必ず清掃し(次亜塩素酸ナトリウム NaOCl 5%水溶液による清掃を推奨)、水洗、乾燥すること。
- b. リン酸処理しないこと。接着力に悪影響を与える恐れがある。

- (3) 主材をアドヒーズモードで使用する場合は、スコッチボンド™ ユニバーサル プラス アドヒーズを用いてセメント接着面にプライマー処理を行う。

- a. ディスポーザブル アプリケーターブラシを使い、スコッチボンド™ ユニバーサル プラス アドヒーズをセメント接着面全体に塗布し、20 秒間処理する。
- b. 塗布面をゆるやかなエアーで、波を打っていたアドヒーズが動かなくなるまで約5秒間乾燥する。

《使用方法等に関連する使用上の注意》

接着ブリッジ(メリーランドブリッジ、インレー／アンレーブリッジ)、ベニア、咬合面ベニア(テーブルトップ)の症例には、主材をアドヒーズモードで使用し、スコッチボンド™ ユニバーサル プラス アドヒーズを併用使用すること。その他症例には、接着力を高めたい場合に任意でスコッチボンド™ ユニバーサル プラス アドヒーズを併用使用することができる。

ーエッチング可能なガラスセラミックス製補綴物ー

- (1) 技工所等で各補綴物の指定に従い補綴物へのエッチングを行い、15 秒間十分に水洗し、水・オイルを含まないエアーで乾燥する。

*

《使用方法等に関連する使用上の注意》

チェアサイドでの口腔内試適後の補綴物は必ず清掃し(次亜塩素酸ナトリウム NaOCl 5%水溶液による清掃を推奨)、水洗、乾燥すること。

- (2) スコッチボンド™ ユニバーサル プラス アドヒーズを用いてセメント接着面にプライマー処理を行う。
- a. ディスポーザブル アプリケーターブラシを使い、スコッチボンド™ ユニバーサル プラス アドヒーズをセメント接着面全体に塗布し、20 秒間処理する。
- b. 塗布面をゆるやかなエアーで、波を打っていたアドヒーズが動かなくなるまで約5秒間乾燥する。

《使用方法等に関連する使用上の注意》

別法として、スコッチボンド™ ユニバーサル プラス アドヒーズの代わりに、シランカップリング材(リライエクス™ セラミック プライマー等)を使用することもできる。

ーコンポジット製補綴物ー

- (1) セメント接着面のサンドブラスト処理を行う。粒径 30～50 μm の酸化アルミニウムを圧力 2bar (30psi) で使用し、処理面を粗造にする。
- (2) サンドブラスト処理を行った表面をアルコールで清掃し、水・オイルを含まないエアーで乾燥する。

《使用方法等に関連する使用上の注意》

サンドブラスト処理を試適後に行わない場合、試適後の補綴物は必ず清掃し(次亜塩素酸ナトリウム NaOCl 5%水溶液による清掃を推奨)、水洗、乾燥すること。

- (3) スコッチボンド™ ユニバーサル プラス アドヒーズを用いてセメント接着面にプライマー処理を行う。
- a. ディスポーザブル アプリケーターブラシを使い、ス

- コッチボンド™ ユニバーサル プラス アドヒーシブをセメント接着面全体に塗布し、20 秒間処理する。
- b. 塗布面をゆるやかなエアード、波を打っていたアドヒーシブが動かなくなるまで約 5 秒間乾燥する。
- 5) ファイバーポストの前処理
- ーリライエックス™ ファイバー ポストを使用する場合ー
- リライエックス™ ファイバー ポストをアルコールで清掃し、水・オイルを含まないエアードで乾燥する。リライエックス™ ファイバー ポストを使用する場合は、プライマーの塗布は必要ない。
- ー他のファイバーポストを使用する場合ー
- 使用するファイバーポストの指示に従い前処理を行う。各ファイバーポストによる指定がない場合は、以下の方法を推奨する。
- (1) ディスポーザブル アプリケーターブラシを使い、スコッチボンド™ ユニバーサル プラス アドヒーシブをセメント接着面全体に塗布し、20 秒間処理する。
- (2) 塗布面をゆるやかなエアード、波を打っていたアドヒーシブが動かなくなるまで約 5 秒間乾燥する。
- 《使用方法等に関連する使用上の注意》**
- 別法として、スコッチボンド™ ユニバーサル プラス アドヒーシブの代わりに、シランカップリング材(リライエックス™ セラミック プライマー等)を使用することもできる。
- 6) 歯質のエッチング
- 適応と材料の種類によって、歯質のエッチングを行う。接着ブリッジ(メリーランドブリッジ、インレー／アンレーブリッジ)、ベニア、咬合面ベニア(テーブルトップ)の症例には、極めて高い接着力が求められるため、歯質へのエッチングを必ず行うこと。その際、未切削エナメル質にもエッチングを行う必要がある。
- アドヒーシブモード(主材とスコッチボンド™ ユニバーサル プラス アドヒーシブの併用使用)では、セレクトィブエナメルエッチング、または、エナメル質と象牙質の両方へのエッチングにより、接着力の向上が可能となる。
- 《使用方法等に関連する使用上の注意》**
- (1) 主材をセルフアドヒーシブモードで使用する場合は、象牙質のエッチングは行わないこと。象牙質へのエッチングはエッチング後にスコッチボンド™ ユニバーサル プラス アドヒーシブを使用するアドヒーシブモードの場合のみ行うことができる。
- (2) 処置中は、エッチングゲルシリンジの汚染を防ぐため、標準的な歯科用保護スリーブをエッチングゲルシリンジに装着することを推奨する(【使用方法等】3. 清掃と消毒を参照)。
- ースコッチボンド™ ユニバーサル エッチャント シリンジを使用する場合ー
- (1) スコッチボンド™ ユニバーサル エッチャントシリンジ先端のキャップをとり、エッチャント ディスペンシング チップ(以下ディスペンシング チップ)を時計方向に回して確実に取付ける。キャップは保管しておく。
- (2) 患者および他のスタッフから離れたところで、練板紙かガーゼの上にエッチング ゲルを試し出しして、つまっていないか確認する。つまっていたら、ディスペンシング チップをはずし、シリンジから直接少量のエッチングゲルを出す。その際、目に見えるつまりがあれば取り除く。
- (3) ディスペンシング チップを元のように再度取付け、試し出しを行う。まだつまっている場合、新しいディスペンシング チップと取り替えること。
- (4) スコッチボンド™ ユニバーサル エッチャント シリンジを用いて、エナメル質や象牙質、あるいはその両方にエッチング ゲルを直接ゆっくりと押し出し、15 秒間放置する。その後、15 秒間、吸引しながら水をスプレーして完全に洗い流す。
- 《使用方法等に関連する使用上の注意》**

- a. ラバーダムの使用を推奨する。
- b. エッチングされた歯面が汚染されないように注意する。汚染された場合、エッチングをやり直し、水洗、乾燥を行うこと。
- (5) 水・オイルを含まないエアード又は綿球で乾燥する。歯面は乾燥させすぎないこと。
- (6) エッチング後、ディスペンシング チップをシリンジから取り外し、キャップを元に戻す。使用したディスペンシング チップは廃棄する。
- ー他のエッチングゲルを使用する場合ー
- 使用するエッチングゲルの指示に従い処理を行う。
- 7) 歯質へのアドヒーシブ塗布
- 適応と材料の種類によって、スコッチボンド™ ユニバーサル プラス アドヒーシブを歯面に塗布する。
- エナメル質への最大の接着強度が求められる補綴物(接着ブリッジ(メリーランドブリッジ及びインレー／アンレーブリッジ)、ベニア、咬合面ベニア(テーブルトップ))には、エナメル質へのエッチング処理及びスコッチボンド™ ユニバーサル プラス アドヒーシブ処理の両方を必ず行うこと。その他の全ての適応については、各補綴物による指定がない場合は、主材は、単独(セルフアドヒーシブモード)でも、スコッチボンド™ ユニバーサル プラス アドヒーシブとの併用(アドヒーシブモード)でも使用できる。
- (1) 混和皿にスコッチボンド™ ユニバーサル プラス アドヒーシブを必要量採取する。混和皿内のアドヒーシブに光が当たらないよう注意する。
- (2) ディスポーザブル アプリケーターブラシを使い、スコッチボンド™ ユニバーサル プラス アドヒーシブをセメント接着面全体に塗布し、20 秒間処理する。
- (3) 塗布面をゆるやかなエアード、波を打っていたアドヒーシブが動かなくなるまで約 5 秒間乾燥する。根管への処理の場合は、処理後根管内の余分なアドヒーシブをペーパーポイントで取り除き、緩やかなエアードを 5 秒間根管全体にあてる。
- 《使用方法等に関連する使用上の注意》**
- a. 主材と併用可能なアドヒーシブは、スコッチボンド™ ユニバーサル プラス アドヒーシブのみである。
- b. スコッチボンド™ ユニバーサル プラス アドヒーシブ使用後は、キャップをカチッと音がするまでしっかりと閉めること。
- c. 塗布時、血液や唾液、滲出液により汚染されないように注意すること。
- d. 処置部位を乾燥状態に保つため、ラバーダムの使用を推奨する。
- e. スコッチボンド™ ユニバーサル プラス アドヒーシブは処理後光照射する必要はないが、任意でスコッチボンド™ ユニバーサル プラス アドヒーシブを 10 秒間光照射し硬化させることもできる。
- f. 光照射器は、400-500nm の波長のものを使用すること。
- 8) セメントの準備
- ー初回使用時ー
- 使用直前に、必要な色のオートミックスシリンジをホイルパックから取り出し、ホイルパックを廃棄する。
- 《使用方法等に関連する使用上の注意》**
- ホイルパック開封後、主材は 6 ヶ月以内かつ使用期限内に使い切ること。ホイルパック開封日を適切な箇所に記録することを推奨する。
- ー毎回の使用時ー
- (1) 使用直前にミキシングチップをシリンジ先端にしっかりと挿入し、シリンジ先端に印刷されている矢印の方向にミキシングチップが動かなくなるまで 90° 回転させ固定する。この動作により、オートミックスシリンジ先端に内蔵のロータリーバルブが開き、ペーストを押し出すことができる。
- 《使用方法等に関連する使用上の注意》**

- a. オートミックスシリンジを冷蔵庫で保管している場合は、必ず使用前に室温に戻すこと。
 - b. 処置中にオートミックスシリンジが汚染されないように、オートミックスシリンジに標準的な歯科用保護スリーブを使用することを推奨する（【使用方法等】3. 清掃と消毒を参照）。
 - c. オートミックスシリンジ先端に内蔵のロータリーバルブは、ミキシングチップが適切に取り付けられた場合にのみ弁が開く。ミキシングチップを適切に取り付けてから、プランジャーに圧を加えること。
- (2) 等量のペースとキャタリストのペーストが正確に練和されるよう、練板紙上に少量、ペーストの試し出しを行う。採取したペーストは破棄すること。
- 9) 根管填入・ポストの挿入
- (1) オートミックス シリンジにミキシングチップを取り付け、その先端にエンド用延長チップ(以後延長チップと記載)を装着する。延長チップ装着時は、ミキシングチップが曲がらないよう支えながら装着すること。
 - (2) 根管内の深い位置に延長チップの先端を挿入し、根尖側からペーストを填入する。延長チップの先端をセメント内に入れたまま、ペースト水平面が上昇するにつれ、延長チップを引き上げていき、5秒以上の時間をかけて充填を行う。根管が完全に満たされるまで、延長チップは根管内から取り出さないようにし、気泡の混入を最小限にする。
- 《使用方法等に関連する使用上の注意》**
 根管にペーストを填入する際、螺旋状根管充填器(レンソロ® 充填器など)を使用しないこと。硬化が過度に促進される恐れがある。
- (3) ポストを、ペーストを填入した根管へ挿入し、位置を維持するため軽く圧力かける。気泡が混入するのを防ぐために、装着時にポストを少し回転させながら挿入することを推奨する。
 - (4) 適切なインスツルメント、または、綿球で余剰セメントを除去する。
 - (5) 透光性の高いポストを使用する場合、ポストを介してセメントの硬化を行う。照射時間は、使用するポストの透光性によるが、リライエックス™ ファイバー ポストの場合、20秒の光照射を行う。
 - (6) 使用済みの延長チップ付きミキシングチップは、塗布後取り外して破棄する。ミキシングチップを取り外すと、シリンジ内蔵のロータリーバルブにより自動的に弁が閉じる。
- 《使用方法等に関連する使用上の注意》**
 ミキシングチップや延長チップは、シリンジから取り外す際に損傷する可能性がある。
- 10) ベニア、インレー／アンレー、クラウン、ブリッジの接着
- (1) 窩壁、窩底の全域、及び、必要に応じてセメント接着する補綴物の表面に、均一に薄く主材を塗布する。塗布時、ミキシングチップ先端はセメント内に入れたままにし、気泡の混入を防ぐこと。
- 《使用方法等に関連する使用上の注意》**
- a. セメント塗布～硬化の間、処置部位が血液や唾液、滲出液により汚染されないように注意すること。
 - b. プランジャーに過度な押し出し圧を加えないこと。ペーストがミキシングチップを通して流れ出るまで一定の時間がかかり、プランジャーに加える力を増やしても、流れ出るスピードは速くならない。
 - c. プランジャーへの圧が減るとすぐに、ペーストの吐出が止まり、ペーストが硬化し始める。硬化したペーストを無理に押し出そうとしないこと。ミキシングチップとオートミックスシリンジが破損する恐れがある。
 - d. ベニアの接着は、主材の操作余裕時間が比較的短い(2分後にデュアルキュアが開始する)ため、同時に接着するベニアは最大2枚とすること。
- (2) 補綴物をセットして、セメントが完全硬化するまで、そのままの状態で保持する（【使用方法等】2. 使用方法 13) 操作時間・硬化時間を参照）。
 - (3) 塗布後、ミキシングチップは取り外して破棄する。ミキシングチップを取り外すと、シリンジ内蔵のロータリーバルブにより自動的に弁が閉じる。
- 《使用方法等に関連する使用上の注意》**
 ミキシングチップは、シリンジから取り外す際に損傷する可能性がある。
- 11) 余剰セメントの除去
- ー方法1：硬化前に除去する方法ー
- (1) 補綴物をセット後、余剰セメントをセメントが硬化する前に綿球などで除去する。
 - (2) 補綴物マージン部をグリセリンジェルで覆い、セメント表面の酸素による硬化阻害を防ぐ。
 - (3) 直ちに光照射する、又は化学重合するまで放置し、仕上げる（（【使用方法等】2. 使用方法 12) 硬化と形態修正参照）。
- * ー方法2：硬化途中に除去する方法ー
- * 補綴物をセット後、余剰セメントを軽く光照射(一般的な光照射器で約2-3秒照射)させたあと、もしくは化学重合中(練和開始から約3分後にゲル状(ワックス状)になったとき)に、探針などの器具で余剰セメントを除去する。特に隣接部は速やかに除去する。エリパー™ S10あるいはエリパー™ ディープキュア LED 光重合器を使用する場合は、仮照射モードが内蔵されているため、1秒間設定の短時間照射ができる。
- 《使用方法等に関連する使用上の注意》**
- (1) 主材は酸素による硬化阻害を受ける。酸素に触れているペースト上層部(約50μm)は硬化せず、未重合状態のままとなる。
 - (2) 十分な量の余剰セメントを残すことで、欠陥なくセメント層の形態修正／研磨ができ、同時に未重合層の除去ができる。
 - (3) 余剰セメントの量は多い方が、除去が行いやすい。
 - (4) 余剰セメントの除去を行う際、補綴物の位置がずれないようにすること。
 - (5) 主材の余剰セメント除去のための光照射時間は、リライエックス™ ユニセム 2 オートミックスやリライエックス™ アルティメット レジン セメントよりも長い場合、注意すること。
- 12) 硬化と形態修正
- (1) 【使用方法等】2. 使用方法 13) 操作時間・硬化時間を参照し、硬化を行う。
 光重合の場合、歯面数に合わせて適切な時間光照射を行う。エリパー™ S10 またはエリパー™ ディープキュア LED 光重合器の使用を推奨する。
- 《使用方法等に関連する使用上の注意》**
- a. セラミックスやコンポジット製補綴物の場合、補綴物を通して光重合することを推奨する。
 - b. 操作時間や硬化時間（【使用方法等】2. 使用方法 13) 操作時間・硬化時間を参照）は、環境温度や口腔内温度に依存する。操作時間・硬化時間に個々に記載している時間は、一般的な歯科医院での使用を想定し記載している。室温での硬化時間は、口腔内に比べ著しく長くなる。
 - c. 主材はデュアルキュア型のセメントであるため、日光や人工光に敏感である。无影灯などの光の下で使用すると、操作時間は著しく短縮する。
- (2) ダイヤモンドバー、酸化アルミニウムコーティングディスク(ソフレックス™ XT 研磨ディスク等)とダイヤモンドポリッシングペーストを使い、補綴物マージンの形態を修正し、研磨を行う。
 - (3) 咬合を確認する。

13) 操作時間・硬化時間

－操作時間－

	主 材 (リライ エックス™ ユニ バーサル レジ ン セメント) 分：秒	スコッチボンド™ ユニバーサル プ ラス アドヒーシ ブ 分：秒
練和開始からの 最大操作時間	02:00	－

－硬化時間（光重合）－

波長 400 nm～500 nm、光強度 1200 mW/cm²以上の光での照射時間は以下の通り。使用する光強度が弱い場合、各光重合器の指示に従い、照射時間を延長すること。

	主 材 (リライ エックス™ ユニ バーサル レジ ン セメント) 分：秒	スコッチボンド™ ユニバーサル プ ラス アドヒーシ ブ 分：秒
1 面照射 (咬合面から)	00:10	(任意) 00:10
他の面からの追加 照射	00:10	－
リライエックス™ ファイバー ポスト 咬合面からの照射	00:20	－

－硬化時間（化学重合）－

	主 材 (リライ エックス™ ユニ バーサル レジ ン セメント) 分：秒	スコッチボンド™ ユニバーサル プ ラス アドヒーシ ブ 分：秒
練和開始から	6:00	－

14) 形態修正後

処置した歯とその周囲を確認し、まだ残っているセメントがあれば除去する。インプラントアバットメントにセメント接着する場合、この行為は特に重要である。

3. 清掃と消毒

－主材：オートミックスシリンジの清掃と消毒－

衛生上の理由から、交叉感染のリスクを避けるため、患者毎に新しいミキシングチップを使用すること。また同理由により、オートミックスシリンジの使用時には、標準的な歯科用保護スリーブを着着することを推奨する。

- 1) ミキシングチップを着着したオートミックスシリンジに保護スリーブを被せ、ミキシングチップの先端を使って注意して保護スリーブの先端に穴をあける。
- 2) 保護スリーブを付けたままオートミックスシリンジを使用した後、オートミックスシリンジが汚染されないよう注意しながら保護スリーブを取り外す。
- 3) 使用済みの保護スリーブは、ミキシングチップと共に廃棄する。
- 4) 保護スリーブを取り外した後、オートミックスシリンジを既成の清掃・消毒用ウェットティッシュ(第4級アンモニウム含有アルコール系消毒剤等を含んだウェットティッシュ)を用いて30秒間よく拭く。

《使用方法等に関連する使用上の注意》

- (1) オートミックスシリンジを臨床で使用する間、未使用の新しい使い捨て手袋を着用すること。
- (2) 再使用可能な部分(シリンジ本体等)が患者の口に接触しないように注意すること。
- (3) オートミックスシリンジやエッチングゲルシリンジが明らかに汚染されている場合(血液や唾液が予期せず付着した場合等)、シリンジを直ちに廃棄すること。

- (4) オートミックスシリンジやエッチングゲルシリンジを消毒槽や洗浄・消毒装置(ウォッシュャーディスインフェクター)に入れないこと。

－スコッチボンド™ ユニバーサル プラス アドヒーシブの清掃と消毒－

治療中の手袋から容器への汚染を避けるため、予めスコッチボンド™ ユニバーサル プラス アドヒーシブを、未使用の新しい使い捨て手袋を着用の上、ボトルから必要量採取しておくことを推奨する。

《使用方法等に関連する使用上の注意》

- (1) ボトルが明らかに汚染されている場合(血液や唾液が予期せず付着した場合等)、ボトルを直ちに廃棄すること。
- (2) ボトルを消毒槽や洗浄・消毒装置(ウォッシュャーディスインフェクター)に入れないこと。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 1) 主材並びにスコッチボンド™ ユニバーサル プラス アドヒーシブは、眼に入ると眼に重度の損傷を引き起こす恐れがある。患者、術者は眼の防護具を着用すること。万一、眼に入った場合には、直ちに大量の水で洗い流し、医師の診察を受けること。
- 2) 主材並びにスコッチボンド™ ユニバーサル プラス アドヒーシブに含まれる成分により、皮膚アレルギー反応が生じることがある。口腔内軟組織に液が長時間触れた場合は、大量の水で洗い流すこと。アレルギー反応が生じた場合、必要に応じて専門医の診察を受けさせ、必要であれば本製品を口腔内から除去し、その後の本製品の使用を中止すること。
術者においては、アレルギー反応のリスクを減少させるために、保護手袋を使用し接触を最小限にすること。特に、未重合の液への接触を避けること。万一液が皮膚に付着した場合にはせつげんと流水で洗い流すこと。一般的に使用されている手袋はアクリレート類を浸透するため、液が手袋に付着した場合は手袋を捨て、すぐにせつげんと流水で手を洗い、その後新しい手袋をすること。万一、アレルギー反応が生じた場合は、必要に応じて医師の診察を受けること。
- 3) スコッチボンド™ ユニバーサル エッチャント シリンジは、眼や皮膚に付着すると炎症を引き起こす恐れがある。患者、術者は適切な防護衣、手袋、眼/顔の防護具を着用すること。付着した場合には、大量の水で洗い流し、医師の診察を受けること。
- 4) スコッチボンド™ ユニバーサル プラス アドヒーシブは引火性物質である。静電気が蓄積しないように注意すること。また、熱、火花、直火、点火用バーナーやその他の発火源に近づけないようにすること。
- 5) スコッチボンド™ ユニバーサル エッチャント シリンジにはリン酸が含まれている。リン酸は強酸性のため皮膚、粘膜に付着した場合、放置すると化学やけどを起こす可能性がある。万一エッチングゲルが皮膚、粘膜に付着した場合には、すぐに大量の流水で十分に洗い流すこと。また、眼に入った場合には、すぐに大量の流水で十分に洗浄して医師の診察を受けること。

【保管方法及び有効期間等】

1. 貯蔵・保管方法

- 主材(リライエックス™ ユニバーサル レジン セメント)
- 1) 2～25℃で保管すること。
- 2) ホイルバック開封後は、開封後6ヶ月以内かつ使用期限内に使用すること。
- 3) 高湿度環境での保管は避けること。湿度によって硬化が加速される恐れがある。
- 4) 本材を高温又は直射日光にさらさないこと。
- 5) 単回使用のミキシングチップ、延長チップ、ディスポーザブル アプリケーターブラシ、ディスペンシング チップは、

製造パッチの追跡を可能にするため、販売時の包装袋での保管を推奨する。

スコッチボンド™ ユニバーサル プラス アドヒーズィブ

1) 2–25℃で保管すること。

2) 火気の近くに保管しないこと。

スコッチボンド™ ユニバーサル プラス アドヒーズィブ ポトル
タイプ：火気厳禁 第四類第二石油類、危険等級Ⅲ、
1.5mL、5mL

スコッチボンド™ ユニバーサル エッチャント シリンジ

2–25℃で保管すること。

2. 有効期間

包装に記載〔自己認証(製造元データによる)〕

****【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

*** 製造販売業者**

名称：スリーエム ジャパン イノベーション株式会社

****** TEL：0120-332-329（カスタマーコールセンター）

外国製造所の国名及び製造業者の名称

****** ドイツ、スリーエム ヘルスケア ジャーマニー ゲーエムベー
***** ハー (3M Healthcare Germany GmbH)

3M、リライエックス、スコッチボンド、ソフレックスは、3M 社の商標です。

レンツロ®は、Maillefer 社の登録商標です。